

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	高精度形状可変ミラー光学系の構築とX線自由電子レーザーのアダプティブ集光
研究代表者	山内 和人（大阪大学・大学院工学研究科・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>回折限界で動作可能なX線集光光学系の開発は、我が国のXFEL（X-ray Free Electron Laser：X線自由電子レーザー）であるSACLA（Spring-8 Angstrom Compact Free Electron Laser）を将来的に有効に活用する上で学術的に重要である。そのために形状可変ミラーを用いてビームサイズを可変にできる光学系の開発を行おうとする本研究の意義は高い。また補償光学を取り入れた新しい発想は研究としての発展が見込まれる。</p> <p>一方で提案している実際の研究開発はマイクロ加工技術、制御技術の延長上にとどまっているという疑念もあるが、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>